

平成30年度米子市下水道事業会計予算について

編成方針

下水道事業の経営の健全性や透明性の向上を図るため、平成30年度から公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の財務規定を適用することとし、平成30年度予算は、地方公営企業会計基準に基づき作成した。

使用料収益は、市民の節水意識の高まりや節水型機器の普及などにより有収水量が減少傾向にあるものの、整備面積の拡大による水洗化人口の増加を見込んで算定した。

投資的経費については、米子市公共下水道事業計画に定める処理区域において管渠の新設工事を実施するほか、長寿命化計画に基づき施設の改築工事を実施する。また、中長期的な更新需要の平準化及び維持管理費の削減を目的として、公共下水道事業ストックマネジメント計画及び農業集落排水施設最適化構想を策定する。

経常的経費については、精査抑制して調製した。

本予算は、下水道事業を将来にわたり安定的に継続していくことを主眼に置き編成した。

予算の概要

1 予算規模

(1) 収益的収支

収益的収入総額は6,020,391千円、収益的支出の総額は5,678,853千円、純利益は341,538千円とした。

(2) 資本的収支

資本的収入総額は3,009,105千円、資本的支出総額は4,804,450千円とした。

2 主な事業

(1) 市街地（米原、両三柳）の面整備を中心に、観音寺、彦名地区等の面整備も併せて実施する。（45ha）

(2) 長寿命化計画に基づき、処理場、ポンプ場の設備工事を実施する。

中央ポンプ場除塵機械設備長寿命化工事

中央ポンプ場除塵電気設備長寿命化工事

淀江浄化センター中央監視設備改築工事

内浜処理場計装設備改築工事その2

(3) 公共下水道事業ストックマネジメント計画及び農業集落排水施設最適化構想を策定する。